

↓ 婦人会による炊き出し訓練



九月一日は防災の日。既に皆様方よくご存知の様に、関東大震災に因んで定められたものです。  
近いうちに東海沖大地震が必ず起こると言われています。炭火を使っていた時代ですら、東京ではあの様な一大災害をもたらしたわけですから、ガスや灯油、あるいはガソリン(車)など、日常何気なく使っている現在では、マグニチュード8程度の地震が発生すれば、恐らく想

# 地震への備えは大丈夫？

## ……防災訓練行なわれる

像を越える事態になるでしょう。その日のために、普段から心の準備が必要です。  
今年の防災の日には、大地震が発生したとの想定のもとに、海蔵地区でも緊急連絡、避難、初期消火、救護、炊き出しなどの訓練が実施されました。  
自治会や消防分団、婦人会、さらには一般の方々の参加によって、真剣な訓練がくり広げられました。

# お母さんご存知ですか？

⇒ ⇒ ⇒ 塾通いがゲーム通い ⇒ ⇒ ⇒



「お母さん、ご存知ですか」  
学習塾へ行くと言って家を出たのに、塾には行かず「ゲームコーナー」で一生懸命「ゲーム」の学習？

補導員が声をかけてもそらぬ顔……、強く注意すると、しぶしぶ返事がくる。でも手の方は休まずに続けている。〇〇小学校〇年〇組〇山〇男、補導員はやさしく注意をして帰す。  
翌日学校に連絡すると、学年氏名に該当児童はなし。うそを平気で言う子どもが随分多くなつた。  
「あなたの子どもさんはいかが？」  
(だまされた補導員)



三角布による応急手当訓練

# 敬老の日



## 七十才以上六一八名

九月十五日現在、海蔵地区で七十才以上の方は六一八名いらっしゃいます。昨年同日では、五八五名でしたから、三三名も増えていることになりました。急速に高令化社会になりつつある日本、この海蔵地区の数を見ただけでもうなづける訳です。

寝たきり、老人ボケ、自殺等々、高令化社会というイメージには、暗い影がついてまわります。しかし、反面では、不十分なが年金、医療、各種施設など、老人福祉の対策は昔と比べると、随分進歩したと言えるでしょう。

が、高令者が充実した日々を送るには、モノとカネだけではなさそうです。つまり、親子孫、そして隣近所、さらには地域社会が手を取り合い、心と心が通い合ってこそ、豊かな一日を過ごすことが出来るのです。

## 記念品を贈る

敬老行事として、各地で多彩な催しがされましたが、当地区では、海蔵小、大谷台小の生徒の皆さんの手紙を添えて、記念品と紅白の饅頭を贈り、長寿をお祝いしました。